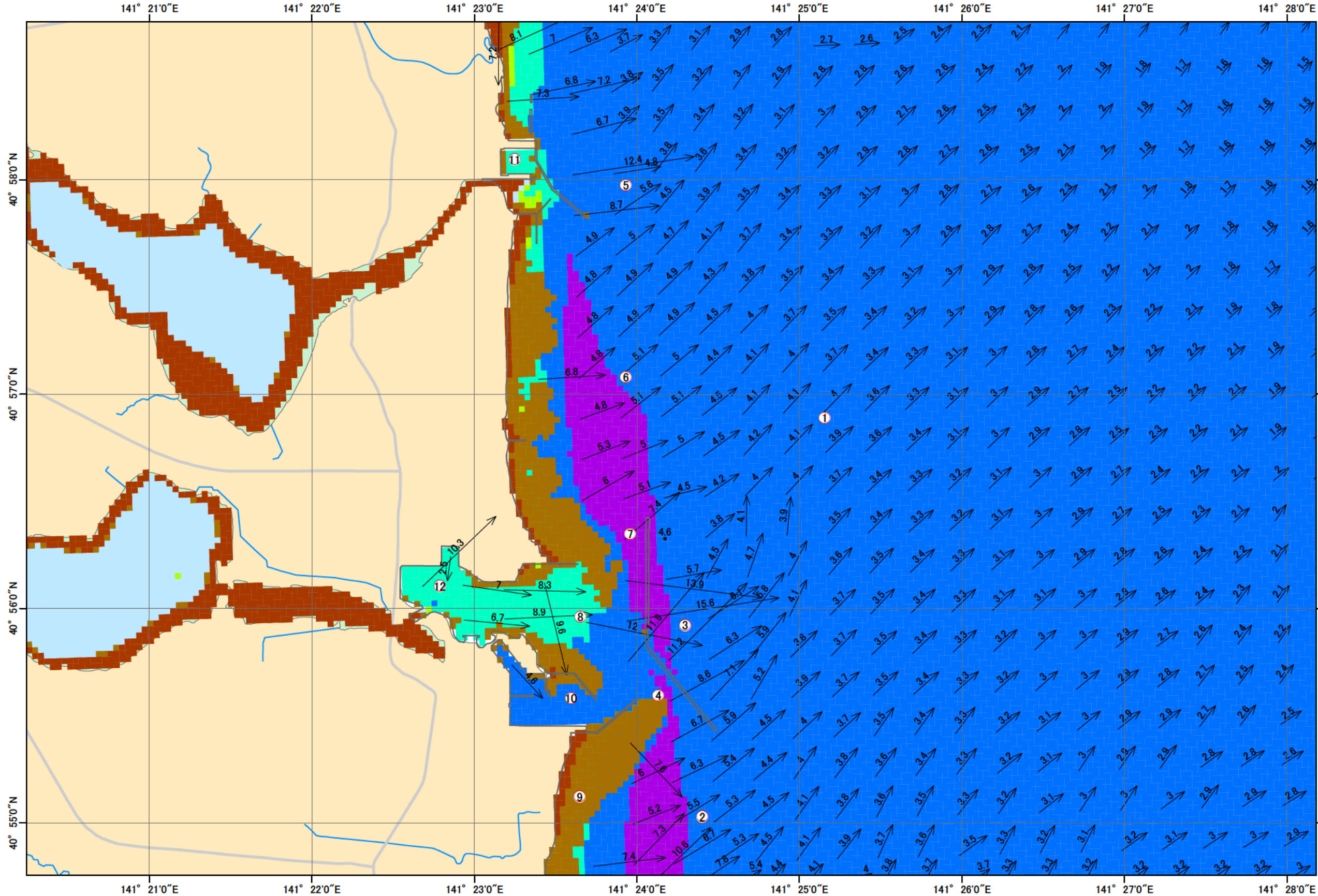




座標系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最低水面 (零位)  
隆起量： 平均 -1.02m(-0.93 ~ -1.11m)  
Zo： 0.85m  
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

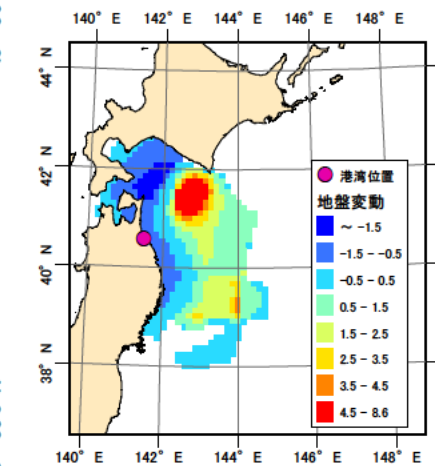
- 最大水位低下
- 10~最大12.1m
  - 5~10m
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
  - 干出域
  - 露出域

○ No. 経時変化図出力点  
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

- 引潮時最大流 [knot]
- 6 knot
  - 4 knot
  - 2 knot

- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

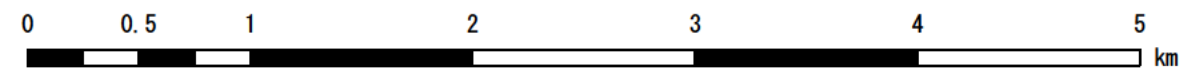
断層モデル



日本海溝(三陸・日高沖)地震

モーメントマグニチュード  $M_w$  9.1

○ 本図の作成にあたっては、"津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)" を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・国土交通省国土数値情報 (ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2021年8月2日取得))



本断層モデルは内閣府の「日本海溝・千島海溝巨大地震モデル検討会」で検討されたモデルである。

作成機関：海上保安庁  
防災情報図作成年月：令和 3年11月 (初版)  
地形データ作成年月：令和 3年 3月 (初版)